

9がわのおとまり保育だよ！ (H.30.9.3)

〈期日〉平成30年9月26日(水)～28日(金) 2泊3日

〈対象〉年中 中(小) 一人に2名です。(これは2才児なので今回は2名、年度末3月のおとまりにて7名)

〈主な活動場所〉海と小さな森のぞも園 (今回は園にて泊り)

〈日程〉

26日(水) 9:00 登園、視診、荷物チェック等。

海へ向かて出発

磯あそび (大潮 15:42干潮)

昼はおにぎり、夕飯は途中で食べ帰す。

19:30 園着予定

シャワーあびて、寝る準備、語り

20:30 就寝

27日(木) 6:30 起床 身じたく

7:00 朝食準備、朝食(みぞれ汁、梅干)

9:00 塩がりに挑戦 (海から持ち帰った海水を使って作り材)



11:00 昼食準備、昼食、片づけ

13:00 ネイティブゲーム (自然あそび)

15:00 おやつ食べて、ちよこ休けい～

16:00 夕飯準備、夕飯、片づけ

18:00 キャンプファイヤー準備

キャンプファイヤー (ゆいがかの女神になり、点火はゆい)

19:30 花火

20:00 シャワーあびて、寝る準備

21:00 就寝



28日(金) 7:00 起床、身じたく

7:30 朝食準備、朝食(みぞれ汁、梅干)

自由遊び

11:00 お迎え

◎ 今年度は、年中さんでもあり、一人ひとりおとまり、一泊にして予定していたが、色々検討し、今日も2泊3日にする事に変更しました。計画を変更する事になりました。ふる(ご)原真(ま)村、このさんには、お休みの御協力も御迷惑をおかけしず。

平成27年度から内容が変わり、うちの園のおとまり保育形態も違ってきていますが、自然においての経験は大切に計画しています。

(ちなみに前は、水くみからや、ていき、トイレも電気もない場所です。今は、月明かりの下でキャンプをしていました。)

<おとまり保育のわらい>

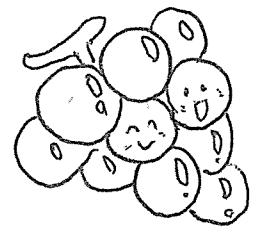
現代において、子ども達の育ちの弱さ、経験や体験の極端な不足、便利社会、スマホ、ゲーム、おどろき器の急速な普及、進化ゆえのいろいろな欠如、人と失われつつあるものなど、人間社会の生活における変化、自然環境の悪化...で、生きぐらさと問題が大きくなり、子ども達の育ちをますます危惧しています。

これから未来ある子ども達にこの厳しい環境の中で、強くたくましく楽しく生きぬいていてほしいという願いを胸に、毎日、たっさんの活動をしてくれているのですが、その中で大きな力となる活動としてこのおとまり保育も計画し、やっています。

幼児期の経験や体験が、生きていくための根、子として、結びついていてくれると思いを保育しています。

卒園していった子ども達に会える機会が多くなり、大きくなると今の子ども達からそれを感心させてもらっています。

私自身、小さい頃から、自然のあらゆる経験を日々させてもらい、キャンプも、水さえあればの所で、テントをばりすした。時には、シラフにはいって



顔だけ出して、野宿のようなキャンプもしたりと、それは、たっさんのさまざまな状況での体験をし、自然の大きさ、ずっさ、恐さ、厳しさ等いっぱい学ばせてもらってきました。大学時代は、授業以外は登山いく、日本アルプスの山々を17泊18日、30kgの荷を担いでの重装備者で貴重な経験も、改めて振り返り

り保育園時代から、小、中、高、大学、大人も、学校にいる以外の時間は、山、川、海へと自然での体験あそびをずっとし続けてきた。保育士になり勤務しても、自分のこの園を出て仕事としてやっていると、自然のあそびは、続いていますね... (笑)。そして、なんにいても、互いに信頼で子ども達と共に体験し、共感し合えるのは、私にとって、力をもらえり時でもあり。自分が小さい頃から自然に直で体験させてもらったのが、私にとって根、こたえ、感じてもらうので、子ども達にとっても、きっと、根、こたえになるだろうと思っ、たっさんの経験活動をとり入れていきます。

自然体験は、危険もとり合わせてあり、その中でも、根底において、慎重に行なっていきます。

- ◎ 今回のわらいは、ゆり一人です。ゆりの状況課題にじっくり向き合って、2泊3日、大きな成長を~と思っています。
- ◎ 積極的に自らすすんで何事にも挑戦する。
- ◎ 挑戦し、やっで、自信をもつ。
- ◎ 考える力を養う